



# トロントの風

トロント補習授業校 学校だより  
令和6年9月21日 No.18  
校長 近藤 仁巳

## 心が解放され、交流が深められるLHRの時間

補習校では、教科の学習のほかに、仲間づくりを意識したLHR(ロングホームルーム)を教育活動に位置付けています。9月14日(土)には、今年度3回目のLHRが開かれました。

広い廊下で紙ひこうきが飛ぶ距離を競ったり、広場でジェンカやドッジボール、じゃんけんピラミッドで体を思う存分動かしたりなど、子どもたちの歓声があちらこちらで聞かれました。また、中学部では、校舎内の広いスペースや廊下で学年の枠を超えたグループで、生徒によって構成された実行委員会の計画、運営のもと、様々なゲームが進められました。高等部では、次回の活動に向けた計画づくりの話し合いが進められました。

LHRは、年間5回の実施を計画しています。週に一日、学校生活を共にする友達と、時には学年を超えた仲間との交流を通して、補習校での学校生活が子どもたちにとって充実したものとなることを願っています。



## 図書室・図書スペースの活用を、うれしく思います 📖👁️



本校には、子どもたちが本に親しめる環境を維持するために、借用校の地下に「図書スペース」を、学校事務所が入居する建屋の地階には「図書室」を整備しています。図書スペースはマクマリック校舎に位置することから、ウイノナ校舎で学ぶ小学部高学年や中学部、高等部の生徒には活用しづらいの

ですが、足を運んで本を手にする生徒の姿が見られます。高等部では、「図書委員会」の生徒が図書スペースや図書室と連携して、2学期にも高等部廊下に本を並べる場所をしつらえ、貸し出し等の活動を進めます。生徒同士で本の内容や、作家や著者が手掛けた別の著作などについて話しながら、読書への意識を高めていってほしいと願っています。

また、学校から徒歩5分ほどの図書室は授業日に開館しており、お子さまを本校へ送られた後や、授業後にお子さまと一緒にご利用いただいています。毎月の貸し出し冊数は1,000冊前後となっており、多くのご利用を大変ありがたく思います。学校では、子どもたちの励みとなればと願い、「読書表彰」を続けてまいります。



保護者の皆様へ

一昨日、中国深圳で保護者と登校中の日本人学校児童が襲われ、亡くなるという痛ましい事件が発生しました。背景など詳細は現在のところ不明とのことですが、6月にも中国蘇州で児童が負傷する事件も起きておりますことから、本校では、学校生活全般、特に園児児童生徒の登下校時には、これまで以上に注意して受け入れ、引き渡し業務にあたるよう指示したところです。

一方で、本校園児児童生徒に対して注意喚起することも検討しましたが、子どもたちに必要以上に不安をかき立ててしまうこともあると思い、現段階で園児児童生徒への全体指導はしないこととしました。保護者の皆様には、お子さまの送迎時に一層注意をいただけますようお願い申し上げます。

今後も、学校と保護者の皆様で協力し、全力で登下校時の安心・安全を確保してまいりたいと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

トロント補習授業校  
校長 近藤仁巳